

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業)	高度 IT ビジネス科	夜・通信	1, 320	320	
	コンピュータ科	夜・通信	390	160	
	ゲームクリエイト科	夜・通信	720	240	
	CG デザイン科	夜・通信	1, 500	240	
専門課程 (商業実務)	ビジネス科	夜・通信	1, 320	160	
	公務員科 1 年制	夜・通信	120	80	
	公務員科 2 年制	夜・通信	180	160	
	医療事務科	夜・通信	570	160	
	国際ビジネス科	夜・通信	560	240	
専門課程 (教育・社会福祉)	こども保育科	夜・通信	1, 180	240	
専門課程 (衛生)	製菓・製パン科	夜・通信	1, 950	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

[高度 IT ビジネス科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_T.pdf
[コンピュータ科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_C.pdf
[ゲームクリエイト科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_G.pdf
[CG デザイン科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_M.pdf
[ビジネス科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_B.pdf
[公務員科 1 年制]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_J.pdf
[公務員科 2 年制]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_K.pdf
[医療事務科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_A.pdf
[国際ビジネス科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_U.pdf
[こども保育科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_Y.pdf
[製菓・製パン科]
https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/07/WE_P.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (https://sist-net.ac.jp/information/) にて「役員名簿」を公開
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役会長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	食品等関連企業 代表取締役会長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 元相談役	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	大学 名誉教授	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 学事顧問
非常勤	証券業 代表取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	冷蔵倉庫業 取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	システム関連企業 代表取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 9月～ 教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画(シラバス)回収・チェック 3月～ 授業計画(シラバス)見直し・修正 4月～ 授業計画(シラバス)公表	
授業計画書の公表方法	公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ [高度ITビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/T2022.pdf [コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/C2022.pdf [ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/G2022.pdf [CGデザイン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/M2022.pdf [ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/B2022.pdf [公務員科1年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/J2022.pdf [公務員科2年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/K2022.pdf [医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/A2022.pdf [国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/U2022.pdf [こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/Y2022.pdf [製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/P2022.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。			
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)			
各学科の定めるディプロマポリシー（卒業認定・高度専門士／専門士授与の方針）に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）の「成績評価の方法」掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指標、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況（専門領域への就職率および進学率等）から学業成果の達成状況进行评估する。			
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。			
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)			
成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）により表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
客観的な指標の算出方法の公表方法		https://www.numasen.ac.jp/numacms/wp-content/uploads/2022/06/Perfindex.pdf	

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。
卒業の認定に関する 方針の公表方法	公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ [高度 IT ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_T.pdf [コンピュータ科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_C.pdf [ゲームクリエイト科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_G.pdf [CG デザイン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_M.pdf [ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_B.pdf [公務員科 1 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_J.pdf [公務員科 2 年制] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_K.pdf [医療事務科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_A.pdf [国際ビジネス科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_U.pdf [こども保育科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_Y.pdf [製菓・製パン科] https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/DP_P.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sist-net.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	https://sist-net.ac.jp/information/
財産目録	https://sist-net.ac.jp/information/
事業報告書	https://sist-net.ac.jp/information/
監事による監査報告（書）	https://sist-net.ac.jp/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	コンピュータ科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2, 040 単位時間	1, 050 単位時間	1, 350 単位時間				
			2, 400 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80 人		119 人	0 人	4 人	14 人		18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 9月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 12月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 4月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）により表す。不可及59点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2

可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 全校共通および各科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。 (卒業要件) 卒業認定は以下のすべてに該当するもので、校長が認めた者とする。 1 必修科目及び選択必修科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと 2 総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること 3 査定日現在で学納金に未納がないこと 卒業の認定については、担当が卒業要件の確認を行った上で、卒業査定会議において協議し、校長が判定を行う。			
学修支援等			
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
52 人 (100%)	1 人 (1.9%)	48 人 (92.3%)	3 人 (5.8%)
(主な就職、業界等) A B C システム株式会社、C T C システムマネジメント株式会社、イースマイルエンジニアリング株式会社、エクセルコンピュータサービス株式会社、シーキューブ株式会社、スルガコンピュータサービス株式会社、ダイハツ沼津販売株式会社、テックインフォメーションシステムズ株式会社、パーパス株式会社、レマコム株式会社、安田情報株式会社、株式会社 I I J エンジニアリング、株式会社 UNS、株式会社アイティエス、株式会社アウトソーシング、株式会社アウトソーシングテクノロジー、株式会社アルプスビジネスサービス、株式会社オカムラ、株式会社スタイル・フリー、株式会社セイコークリエイト、株式会社宇式通信システム、株式会社棚澤八光社、株式会社長倉製作所、株式会社平山、共栄機電株式会社、五十鈴中央株式会社、山本被服株式会社、住電装プラテック株式会社、春日製紙工業株式会社、創プラス株式会社、東栄電機株式会社、東洋電産株式会社、東和テック株式会社、日本情報産業株式会社、明電システムソリューション株式会社、矢崎総業株式会社、有限会社システムイン、有限会社ストラテジックセキュリティ など			

(就職指導内容)
自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問合せ他
(主な学修成果（資格・検定等）)
基本情報技術者試験 13 人 C 言語検定 3 級 31 人 CompTIA ITF+ 45 人
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	2 人	1.7%
(中途退学の主な理由)		
成績不振、体調不良の為		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	高度 IT ビジネス科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,630 単位時間	2,010 単位時間	1,710 単位時間			
			3,720 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		89 人	0 人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要)
授業計画（シラバス）の作成過程および公表について
4 月～ 次年度授業計画策定
4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼
・授業計画（シラバス）テンプレート配布
・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明
7 月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック
9 月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正
3 月～ 授業計画（シラバス）公表
成績評価の基準・方法
(概要)
成績は科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0.0%)	14 人 (100%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) GMOインターネット株式会社、イオンディライト株式会社 東京本社、エヌビーシー株式会社、キャルシステムコンサルティング株式会社、株式会社 I I J エンジニアリング、株式会社 S B S 情報システム、株式会社ジェイテック、株式会社システック、株式会社システナ、株式会社マーキュリー、株式会社メトロ、株式会社宇式通信システム、株式会社夢テクノロジー、日本コンピュータシステム株式会社、有限会社ストラテジックセキュリティ 等			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話・メールでの問い合わせ他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験 1 名、基本情報技術者試験 5 名 サイバー大学卒業 12 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	7 人	8.0%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	C Gデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 090 単位時間	510 単位時間	2, 460 単位時間	780 単位時間		
			3, 750 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		87 人	0 人	3 人	13 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			

卒業・進級の認定基準	
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。	
学修支援等	
(概要) ・指導教員との面談 ・習熟度別の補習 ・勉強会	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (95.2%)	1 人 (4.8%)
(主な就職、業界等) イデシゴヨー株式会社、カナエ工業株式会社、ソルトライブホールディングス株式会社、マーレエレクトリックドライブズジャパン株式会社、旭化成アビリティ、株式会社アライ、株式会社アウトソーシングテクノロジー、株式会社アグニ・フレア、株式会社ウェルビーイング、株式会社コーエイ、株式会社トミヤコーヒー、株式会社ピコナ、株式会社旭プロダクション、株式会社棚澤八光社、株式会社東邦プラン、株式会社武右エ門、株式会社平山、山本被服株式会社、清水ロジテム株式会社、大日製紙株式会社、日東光器株式会社など			
(就職指導内容) 自己分析、スーツ・メイク講座、業界・企業研究、筆記試験対策、面接指導、エントリーシート・履歴書添削指導、模擬面接、校内企業ガイダンス、電話メールでの問い合わせ他			
(主な学修成果（資格・検定等）) 第 10 回ものづくり競技会 ポスターコンペティション最優秀賞、同競技会グラフィックデザイン部門 1 位、7 位 第 22 回静岡県洋菓子作品展ポスター制作などの企業連携、C G デザイナー検定ベーシック 17 名、色彩検 3 級 20 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	6 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および 3 者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 060 単位時間	510 単位時間	2, 520 単位時間	540 単位時間		
			3, 570 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		89 人	0 人	1 人	14 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9 月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3 月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要) ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	0 人 (0%)	24 人 (88.9%)	3 人 (11.1%)
（主な就職、業界等） イースマイルエンジニアリング株式会社、エスピトーム株式会社、キャルシステムコンサル ルティング株式会社、デュプロ精工株式会社、マルスン株式会社、ユニバーサル製缶株式 会社 富士小山工場、ランアンドケントス株式会社、横浜ゴム株式会社 三島工場、株式 会社 UNS、株式会社 Z O A、株式会社アウトソーシング、株式会社アウトソーシングテク ノロジー、株式会社アルプスビジネスサービス、株式会社エフアイティーシステム、株式 会社キット、株式会社テクノネットワーク、株式会社ホープクリエイト、株式会社ル・グ ラン、株式会社平山、協和警備保障株式会社、東栄電機株式会社、東和テック株式会社 日研トータルソーシング株式会社、有限会社アイ・プランニング など			
（就職指導内容） ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） C 言語検定 2 級 7 人、3 級 22 人 CG エンジニア検定エキスパート 6 人			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	9 人	9.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、成績不振等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および 3 者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、 専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間	420 単位時間	1, 710 単位時間	150 単位時間		
			2, 280 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		64 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）			
授業計画（シラバス）の作成過程および公表について			
4月～ 次年度授業計画策定			
4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼			
・授業計画（シラバス）テンプレート配布			
・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明			
7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック			
9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正			
3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要）			
成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
（概要）			
本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。			
●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。			
●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
（概要）			
・指導教員との面談		・家庭連絡により保護者と連携して指導	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (96.4%)	1 人 (3.6%)
(主な就職、業界等) セコムジャスティック株式会社、ダイレクトワン株式会社、マックスバリュ東海株式会社、加和太建設株式会社、株式会社あおき、株式会社アスク、株式会社イズラシ、株式会社エー・エル・シー、株式会社ビートレーディング、株式会社旭洋工業製作所、株式会社影山鉄工所、株式会社山口製作所、株式会社小林製作所、株式会社長倉製作所、株式会社日弘商会、株式会社平山、近物レックス株式会社、五十鈴中央株式会社 富士サービスセンター、御殿場市役所、静岡日野自動車株式会社、静岡部品株式会社、東洋カプセル株式会社、東和テック株式会社、特定非営利活動法人シンセア、富士宮通運株式会社、矢崎総業株式会社、矢崎部品株式会社裾野製作所 など			
(就職指導内容) 就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファイナンシャルプランニング技能検定 3 級 17 名 秘書検定 2 級 5 名 日本商工会議所簿記検定 3 級 13 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68 人	3 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間	420 単位時間	1, 470 単位時間	150 単位時間		
			2, 040 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		47 人	0 人	1 人	15 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
（概要） ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (95.8%)	1 人 (4.2%)
（主な就職、業界等） アリス薬局グループ、いしかわ皮膚科、医療法人社団 恵稜会 田辺整形外科医院、医療法人社団 聡誠会 池田病院、医療法人社団愛生会（板東レディースクリニック）、医療法人社団喜生会 新富士病院グループ、医療法人社団宏和会岡村記念病院、医療法人社団真養会 きせがわ病院、医療法人社団親和会 西島病院、一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院、一般財団法人富士脳障害研究附属病院、株式会社ル・グラン、株式会社藤巻製作所、株式会社平山、公益財団法人復康会鷹岡病院、国際医療福祉大学熱海病院、町田食品株式会社、有限会社べっく ほか			
（就職指導内容） 就活ゼミでの面接指導や履歴書の書き方指導をはじめ、スーツ講座、メイク講座、模擬面接で就職活動の基本を身に付ける。また、校内企業ガイダンスに参加することで、実践的な企業研究を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験 10 名 医師事務作業補助者認定 6 名 医療秘書技能検定 準 1 級 6 名、2 級 10 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	4 人	8.3%
（中途退学の主な理由） 成績不振、進路変更、体調不良など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	こども保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 135 単位時間	1, 045 単位時間	1, 760 単位時間	330 単位時間		
			3, 135 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		77 人	0 人	3 人	23 人	26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9 月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3 月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
$\text{成績評価指数} = ((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。			
●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることことができる。			
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			

学修支援等
(概要) ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) アドバン ペンギン保育園、ちびっこ東園、フジ虎ノ門グループ、学校法人象山学園象山幼稚園、学校法人静岡聖母学園蒲原聖母幼稚園、学校法人大聖学園認定こども園中央幼稚園 学校法人向坂学園認定こども園春の木幼稚園、学校法人双葉学園双葉幼稚園、学校法人藤田学園藤田幼稚園、株式会社アピカル、株式会社スマイルリンク、株式会社フルサポート 社会福祉法人敬和会まりあ保育園、社会福祉法人大東会神山認定こども園、社会福祉法人富士旭出学園、社会福祉法人すみれ福祉会すみれ保育園、社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会、社会福祉法人共生会児童養護施設松風荘、社会福祉法人鶏声会富士見台リズム保育園、社会福祉法人光長寺徳永会光長保育園、社会福祉法人桜愛会御宿台こども園、社会福祉法人桜愛会さくら保育園、社会福祉法人仁岳会梅の実保育園、社会福祉法人万里の会 幼保連携型こども園 ぶらんこ、宗教法人春清寺 春清学苑幼稚園、沼津あすなろ幼稚園、幼保連携型認定こども園野中こども園など			
(就職指導内容) ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 幼稚園教諭 2 種免許 22 人 保育士 25 人 社会福祉主事任用資格 27 人 幼稚園・保育園のためのリミック指導資格 1 級 23 人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	6 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および 3 者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		専門課程	製菓・製パン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 220 単位時間	630 単位時間	420 単位時間	1, 170 単位時間		
			2, 220 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		35 人	0 人	3 人	16 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9 月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3 月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
（概要） ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） パティスリー 苺いちえ、プチ・アンジュ国立、レマコム株式会社 株式会社サンセリーテ（ToshiYoroizuka）、株式会社プラス 株式会社大胡田屋アンドロワ・パレ、有限会社シェ・イリエ、有限会社ミチ みちぱん 有限会社リュミエール など			
（就職指導内容） ・指導教員・就職担当職員による面接指導 ・学校全体による SPI 試験や適性検査の実施 ・学校による独自の就職ガイダンスの開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 製菓衛生師 10 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	5 人	13.9%
（中途退学の主な理由） 病気治療、経済的な理由、結婚など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、 専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	公務員科 1 年制					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	1, 020 単位時間	810 単位時間	210 単位時間				
			1, 020 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10 人		4 人	0 人	1 人	16 人	17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7 月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9 月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3 月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可及び 59 点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
（概要） 指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 正規社員として就職（個人特定が可能なため記載は控えさせていただきます）			
(就職指導内容) 面接対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 受験なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	3 人	75.0%
(中途退学の主な理由) 就職内定（中途採用）による早期退学（公務員志望の取りやめ含む）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、 専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		専門課程	公務員科 2 年制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 040 単位時間	1, 770 単位時間	270 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2, 040 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		37 人	0 人	1 人	16 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画（シラバス）の作成過程および公表について 4 月～ 次年度授業計画策定 4 月～ 教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布

・授業計画（シラバス）ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 9月～ 授業計画（シラバス）見直し・修正 3月～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝$((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
（概要） 指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0.0%)	15人 (88.2%)	2人 (11.8%)
（主な就職、業界等） セコムジャスティック株式会社、株式会社アウトソーシングテクノロジー 株式会社静岡銀行、吉田町、協和警備保障株式会社 厚生労働省静岡労働局、国土交通省関東地方整備局 国土交通省中部運輸局、社会福祉法人花園会、西伊豆町、税務職員 総合警備保障株式会社、防衛省・自衛隊、矢崎総業株式会社、矢崎部品株式会社裾野製作所、有限会社メイプル など			

(就職指導内容) 面接対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 文章検定 準2級 11人
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	1人	2.3%
(中途退学の主な理由) 一身上の理由による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、 専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	国際ビジネス科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2, 430 単位時間	1, 730 単位時間	770 単位時間				
			2, 500 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人		38 人	38 人	2 人	11 人	13 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成過程および公表について 4月～ 次年度授業計画策定 4月～ 教員への授業計画 (シラバス) 作成依頼 ・授業計画 (シラバス) テンプレート配布 ・授業計画 (シラバス) ガイドライン配布・説明 7月～ 授業計画 (シラバス) 回収・チェック 9月～ 授業計画 (シラバス) 見直し・修正 3月～ 授業計画 (シラバス) 公表

成績評価の基準・方法			
(概要) 成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝ $((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}$			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ●専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。 ●情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。 ●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。			
学修支援等			
(概要) 指導教員との面談／習熟度別の補習／勉強会			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (80.0%)	3人 (20.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社 ワイ・シー・シー、株式会社mog plus（海鮮みなと家）、株式会社アパ・ジャパン、株式会社グランバー東京ラスク、株式会社ジオダイニング、株式会社トーキ、株式会社ファインテック富士宮工場、株式会社半田工業所、小林道路株式会社、有限会社飯田商店、離れの宿和楽			
(就職指導内容) 指導教員/就職担当による面接指導、短期インターンシップを含む就労体験 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験 N1（1人） N2（10人）、N3（6人） CAD実務キャリア認定制度 8人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	13 人	23.6%
(中途退学の主な理由) 成績不振、経済的理由による特定就労ビザへの切り替え、帰国など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制の採用。日々の出欠席確認や欠課数に応じた保護者連絡および3者面談を実施。 学生動向についての教員間共有と報告と対応を実施。精神的な悩みを持つ学生に対し、 専門のカウンセラーによるカウンセリングを希望者に対して実施している。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
高度 IT ビジネス科	250,000 円	840,000 円	円	
コンピュータ科	250,000 円	920,000 円	円	
ゲームクリエイト科	250,000 円	920,000 円	円	
CG デザイン科	250,000 円	960,000 円	円	
ビジネス科	200,000 円	920,000 円	円	
医療事務科	200,000 円	920,000 円	円	
公務員科	200,000 円	920,000 円	円	
こども保育科	200,000 円	700,000 円	円	
製菓・製パン科	200,000 円	980,000 円	円	
国際ビジネス科	150,000 円	680,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ 学校評価報告書 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/202206evaluation		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として実施している。 ・主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・評価委員会の構成 定員：8 名 (企業/関連団体：6 名 地域・教育関係：2 名) ・評価結果の活用方法 評価結果について、校長 (責任者) を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 沼津法人会	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	地方団体関係者
静岡県立三島長陵高等学校	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	高校・地域住民

株式会社 ディスタンス・インターナショナル	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
ランアンドケントス株式会社	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
社会福祉法人 羊之舎恵愛会 恵愛保育園	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
株式会社 雅心苑	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
医療法人社団 真養会 田沢医院	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ 学校情報 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/2022information		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公開ページトップ https://www.numasen.ac.jp/public/ 学校情報 https://www.numasen.ac.jp/assets/pdf/2022/07/2022information

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H122310000018
学校名	沼津情報・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		87人	82人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	54人	51人	
	第Ⅱ区分	18人	18人	
	第Ⅲ区分	15人	13人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	-		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	後半期	

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。